

令和4年第3回臨時会

富良野市議会会議録

令和4年5月23日（月曜日）午前10時00分開会

◎議事日程（第1号）

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
日程第 2 会期の決定
日程第 3 議案第 1号 富良野市部設置条例の一部改正について
日程第 4 議案第 2号 動力計装機器更新事業(工事請負)契約の締結について
日程第 5 議案第 3号 富良野市過疎地域持続的発展市町村計画の一部変更について
日程第 6 議案第 4号 富良野市副市長の選任について
日程第 7 富良野市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

◎出席議員（18名）

議長	18番	黒岩岳雄君	副議長	13番	今利一君
	1番	宮田均君		2番	渋谷正文君
	3番	大西三奈子君		4番	松下寿美枝君
	5番	大栗民江君		6番	関野常勝君
	7番	石上孝雄君		8番	水間健太君
	9番	小林裕幸君		10番	家入茂君
	11番	本間敏行君		12番	佐藤秀靖君
	14番	宇治則幸君		15番	日里雅至君
	16番	天日公子君		17番	後藤英知夫君

◎欠席議員（0名）

◎説明員

市長	北猛俊君	副市長	石井隆君
総務部長 兼総務課長	稲葉武則君	スマートシティ戦略室長	西野成紀君
市民生活部長	山下俊明君	保健福祉部長	柿本敦史君
経済部長 兼ぶどう果樹研究所長	川上勝義君	建設水道部長	小野豊君
看護専門学校長	澤田貴美子君	財政課長	藤野秀光君

企画振興課長 関 澤 博 行 君
教育委員会教育部長 亀 淵 雅 彦 君

教育委員会教育長 近 内 栄 一 君

◎事務局出席職員

事務局 長 井 口 聡 君
書 記 向 山 孝 行 君

書
書

記 大 津 諭 君
記 鷺 見 悠 太 君

午前10時00分 開会
(出席議員数18名)

開 会 宣 告

○議長（黒岩岳雄君） これより、本日をもって招集されました令和4年第3回富良野市議会臨時会を開会いたします。

新型コロナウイルス感染防止のため、会議中のマスクの着用を許可いたします。

開 議 宣 告

○議長（黒岩岳雄君） 直ちに、本日の会議を開きます。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（黒岩岳雄君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員には、会議規則第126条の規定により、

大 栗 民 江 君

本 間 敏 行 君

を御指名申し上げます。

諸 般 の 報 告

○議長（黒岩岳雄君） 事務局長をして、諸般の報告をいたさせます。

事務局長井口聡君。

○事務局長（井口聡君） -登壇-

議長の諸般の報告を朗読いたします。

本臨時会に市長より提出の事件、議案第1号から議案第3号につきましては、あらかじめ御配付のとおりでございます。

次に、議案第4号につきましては、本日御配付のとおりでございます。

次に、議会より提出の事件につきましては、議会側提出件名表に記載のとおりでございます。

次に、本臨時会の説明員につきましては、別紙名簿として御配付のとおりでございます。

本日の議事日程につきましても、お手元に御配付のとおりでございます。

以上でございます。

日程第2 会期の決定

○議長（黒岩岳雄君） 日程第2、会期の決定を議題と

いたします。

本臨時会の運営に関し、議会運営委員会より報告を願います。

議会運営委員長石上孝雄君。

○議会運営委員長（石上孝雄君） -登壇-

おはようございます。

議会運営委員会より、本日をもって招集されました令和4年第3回臨時会が開会されるに当たり、本日、委員会を開催し、運営について審議いたしました結果について報告いたします。

本臨時会に提出されました事件数は、5件でございます。うち、市長からの提出案件は4件で、内容は、条例1件、人事1件、その他2件でございます。議会側からの提出案件は、富良野市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙1件でございます。

なお、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙の方法につきましては、議長指名による選考委員4名によって選考を願い、指名推選することで申合せをいたしております。

委員会では、会期を本日1日とし、案件の審議を願うことで委員会の一致を見た次第であります。

以上、よろしく御協力を賜りますようお願い申し上げます。議会運営委員会からの報告といたします。

○議長（黒岩岳雄君） お諮りいたします。

ただいま議会運営委員会より報告のとおり本臨時会を運営し、会期は本日1日間といたしたいと思っております。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） 御異議なしと認めます。

よって、ただいまお諮りのとおり決しました。

日程第3

議案第1号 富良野市部設置条例の一部改正について

○議長（黒岩岳雄君） 日程第3、議案第1号、富良野市部設置条例の一部改正についてを議題といたします。

本件について、提案者の説明を求めます。

副市長石井隆君。

○副市長（石井隆君） -登壇-

おはようございます。

議案第1号、富良野市部設置条例の一部改正について御説明申し上げます。

本件は、現行の組織機構を見直し、社会情勢の変化や行政ニーズに対応する、より効率、効果的な執行体制及び管理体制の確立を図るため、改正しようとするもので、現行、総務部が担っております市税に関する事務を市民生活部へ移行しようとするものでございます。

条例の施行日は、令和4年6月5日からとしようとするものでございます。

以上、よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（黒岩岳雄君） これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第4

議案第2号 動力計装機器更新事業（工事請負） 契約の締結について

○議長（黒岩岳雄君） 日程第4、議案第2号、動力計装機器更新事業（工事請負）契約の締結についてを議題といたします。

本件について、提案者の説明を求めます。

副市長石井隆君。

○副市長（石井隆君） -登壇-

議案第2号、動力計装機器更新事業（工事請負）契約の締結について御説明申し上げます。

本件は、平成29年度より実施しております水道事業及び簡易水道事業の各施設の動力計装機器の更新で、令和4年度から実施の島ノ下地区簡易水道施設の設計、施工を一括して発注しようとするもので、4月28日に見積り合わせを執行した結果、契約金額1億9,316万円で、株式会社日立製作所北海道支社が工事請負契約者と決定いたしました。

この契約は、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に該当するもので、契約の締結に当たり、地方自治法第96条第1項第5号の規定に基づき、議会の議決を求めるとでございます。

工事請負の期間は、契約の日から令和7年1月31日までの3年間でございます。

なお、関係資料といたしまして、工事概要と位置図を御配付しておりますので、御参照いただきたいと存じます。

以上、よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（黒岩岳雄君） これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第5

議案第3号 富良野市過疎地域持続的発展市町村計画の一部変更について

○議長（黒岩岳雄君） 日程第5、議案第3号、富良野市過疎地域持続的発展市町村計画の一部変更についてを議題といたします。

本件について、提案者の説明を求めます。

副市長石井隆君。

○副市長（石井隆君） -登壇-

議案第3号、富良野市過疎地域持続的発展市町村計画の一部変更について御説明申し上げます。

令和3年4月施行の過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法（令和3年法律第19号）の経過措置の適用による財政上の特別措置を受けるため、令和3年9月24日付で、国に対し、富良野市過疎地域持続的発展市町村計画を提出してきたところではありますが、令和4年4月1日付の総務省公示により、同法第2条第1項及び第2項の規定に基づく新たな過疎地域に指定されたことに伴い、北海道過疎地域持続的発展計画との整合性を図るための計画期間の変更と、令和4年度事業に追加すべき事業等が生じたことから、本計画の一部を変更しようとするものでございます。

なお、本計画の変更については、令和4年5月11日付で北海道との協議が調ったことから、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第8条第10項において準用する同条第1項の規定により、議会の議決を求めるとでございます。

以下、その内容について御説明申し上げます。

表紙中、令和3年度～令和9年度を、令和3年度～令和7年度に改めるものでございます。

本計画で、1. 基本的な事項の（7）計画期間を、令和3年4月1日から令和10年3月31日までの7か年間から、令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5か年間に改めるものでございます。

また、6. 生活環境の整備、【計画】の表中、5 生活環境の整備、（3）廃棄物処理施設 ごみ処理施設に衛生センター管理運営費を、（7）過疎地域自立促進特

別事業 生活にごみ収集経費を追加しようとするものでございます。

また、8. 医療の確保、【計画】の表中、7 医療の確保に、(1) 診療施設診療所として山部診療所運営事業費を、(3) 過疎地域持続的発展特別事業、自治体病院として山部診療所運営事業費をそれぞれ追加しようとするものでございます。

また、事業計画の表の計画期間、令和9年度を令和7年度に改め、5 生活環境の整備、(7) 過疎地域持続的発展特別事業、生活にごみ収集経費を、7 医療の確保に、(3) 過疎地域持続的発展特別事業 自治体病院として山部診療所運営事業費をそれぞれ追加しようとするものでございます。

以上、よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長(黒岩岳雄君) これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第6

議案第4号 富良野市副市長の選任について

○議長(黒岩岳雄君) 日程第6、議案第4号、富良野市副市長の選任についてを議題といたします。

(総務部長稲葉武則君、退場)

○議長(黒岩岳雄君) 本件について、提案者の説明を求めます。

市長北猛俊君。

○市長(北猛俊君) ー登壇ー

おはようございます。

議案第4号、富良野市副市長の選任について、提案の理由を御説明申し上げます。

富良野市副市長石井隆君(5ページで訂正)は、令和4年6月4日をもって任期満了となりますので、その後任といたしまして、現総務部長の稲葉武則君を選任いたしたく、地方自治法第162条の規定により、議会の同意を求めらるものでございます。

稲葉武則君は、昭和55年4月に富良野市役所に奉職以来、主に、福祉、企画、観光、農業関係の事務を担当し、この間、富良野広域連合事務局長、企画振興課長、社会

教育課長、学校教育課長を歴任し、旺盛な責任感と誠実さを持って職務遂行に努力され、平成30年6月からは、総務部長として市政の発展と地方自治の振興に尽力されてきたところでございます。

本市副市長として適任と考えますので、よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

なお、同君の経歴につきましては、別紙のとおりでございます。

御訂正をお願いいたします。

現副市長の名前のところで、石井隆君を「たけし」君と申し上げたようでございます。石井隆君と御訂正をお願いいたします。

○議長(黒岩岳雄君) これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、選任に同意することに決しました。

(総務部長稲葉武則君、入場)

日程第7

富良野市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

○議長(黒岩岳雄君) 日程第7、富良野市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を議題といたします。

本件は、選挙管理委員会委員及び補充員が令和4年6月4日をもって任期満了に伴うもので、地方自治法第182条第1項及び第2項の規定に基づき、選挙するものであります。

お諮りいたします。

選挙の方法につきましては、議会運営委員長報告のとおり、選考委員会を設置し、選考した者を地方自治法第118条第1項の規定に基づく指名推選といたしたいと思います。

これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) 御異議なしと認めます。

よって、選考委員会を設置することに決しました。

お諮りいたします。

選考委員の指名の方法は、議長において指名する4名の選考委員により行いたいと思います。

これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) 御異議なしと認めます。

よって、ただいまお諮りのとおり決しました。

それでは、4名の選考委員を御指名いたします。

佐藤秀靖君、宇治則幸君、天日公子君、後藤英知夫君、
以上4名の諸君であります。

ここで、選考委員会開催のため、暫時休憩いたします。

午前10時19分 休憩

午前10時24分 開議

○議長(黒岩岳雄君) 休憩前に引き続き、会議を開きます。

休憩前の議事を続行いたします。

選考委員会からの報告を求めます。

選考委員長天日公子君。

○選考委員長(天日公子君) -登壇-

富良野市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙につきまして、議長から指名を受けた選考委員4名が慎重に審議した結果、次のように決定しましたので、御報告申し上げます。

委員には、伊藤和朗君、幕田光義君、川崎隆一君、宮下牧弓君。

補充員につきましては、順位がついておりますので、1番から申し上げます。

1番一條敏彦君、2番川上泰頭君、3番荏原哲君、4番長田壽弘君。

以上でございます。

○議長(黒岩岳雄君) これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) ないようですので、お諮りいたします。

ただいまの選考委員長の報告のとおり、選考された諸君を選挙管理委員会委員及び補充員の当選人とすることに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) 御異議なしと認めます。

よって、ただいまお諮りのとおり決しました。

この結果は、会議規則第32条第2項の規定に基づき、直ちに告知いたします。

○議長(黒岩岳雄君) 以上で、本臨時会に付議されました案件は、全て終了いたしました。

就任・退任挨拶

○議長(黒岩岳雄君) この際、本日、富良野市副市長

に選任同意されました稲葉武則君、また、副市長石井隆君より、御挨拶の発言の申出がありますので、これを受けたいと思います。

最初に、副市長石井隆君。

○副市長(石井隆君) -登壇-

改めて、いま、発言の機会をいただきましたことに感謝を申し上げます。

退任に当たりまして、一言、御挨拶を申し上げたいと存じます。

議員の皆さんにおかれましては、これまで御指導、御理解をいただいて現職を務めさせていただきましたことに、この場をお借りしてお礼を申し上げたいと存じます。

ありがとうございます。

私が市役所に奉職したのが昭和46年です。それから半世紀が過ぎました。また、その約半分当たる四半世紀がこの議会に説明員として出席をさせていただきました。皆さんのおかげで、最後まで務めさせていただいております。

この退任に当たり、私は、ふだん、過去を振り返るといことは余りしないのですが、いろいろ振り返ってみました。いろんなことが思い出されました。その中で、議会に関して一番印象に残っていることとして、中心市街地活性化の駅前再開発の4.2ヘクタールの事業の議会がございまして、ここは、当然、駅前ということでございまして、また、55億円という巨費を投じて事業が行われるということで、皆さんの慎重な審議をいただきました。

その結果、審議が規定時間内に終わらず、食事を取って、夕食を取って夜間の議会になったことを思い出します。私が記憶する限りでは、それまで、その後も夜間議会というのはなかったと思いますけれども、これが、一番、印象に強く残ってございます。

また、仕事の面でいきますと、昭和でございます。昭和53年に教育委員会に配属になりました。当時、少子化がどんどん進んできたということで、学校について、東山地区の統廃合が行われて、また、施設の老朽化が著しく、全ての校舎が改築をしなければならない状況になっておりまして、そこへ配属になったということで、学校建設を毎年行ってまいりました。そのときに建てた施設がいまは老朽化をして、また、昭和57年の耐震基準に対応できないということで、危険建物ということで改修がずっと行われてきて、最終の状況は、樹海中学校を最後に危険建物が解消されたということでございます。

また、財政課に配属になったときには、当時、各地域が災害に随分遭って、その防災拠点となる庁舎が老朽化しているということで、何とかならないのだろうか。その後も一般質問でも随分言われましたけれども、これ

については、懸案でありましたけれども、財政的に国の支援が一つもない状況でございました。また、起債を借り入れて事業を運営するというのもできない状況でしたけれども、御承知のように、平成28年、熊本の地震を機に、国のほうも庁舎に対する支援ということで、これは時限でございますけれども、創設をして、いま、庁舎建て替えをさせていただきました。文化会館も併せてさせていただきました。残るはスポーツセンターがありますが、これも、今回、耐震診断をするということで、改修の方向が見えてきたのかなというふうに思っています。

一通り、私が気にしていたものに一区切りがつく、こうした時期となりました。

ちなみに、私が市役所に入ったときの一番最初の配属先が税務課でした。ちょうど、時、文化会館の建設が行われていて、その建設現場を見ながら仕事をしていました。いまは、新庁舎を建てていて、その建設現場を見ながら仕事をさせていただいております。両方ともターニングポイントですけれども、何か因縁めいたものがあるのかなというふうに思っておりますけれども、おかげさまで、安心して多くの方が出入りする建物の安全性が保たれたということで安堵しているところでございます。

この後、一住民として、この議会でいろいろ議論された行政の運営を享受してまいることとなりますけれども、一市民として、自分でできることは自分で、地域でできることは協力して、今後、生活をしてまいりたいというふうに思いますので、よろしく願い申し上げます。

結びになりますけれども、富良野市のますますの発展と皆さんの御健勝を心より御祈念申し上げます、退任に当たっての御挨拶とさせていただきます。

長い間、お世話になりました。ありがとうございました。(拍手)

○議長(黒岩岳雄君) 大変お疲れさまでございました。

次に、副市長に選任されました稲葉武則君より御挨拶をいただきます。

稲葉武則君。

○稲葉武則君 -登壇-

おはようございます。

一言、御挨拶を申し上げます。

貴重な時間を割いていただき、このような機会を下されたことに心から感謝を申し上げます。誠にありがとうございます。

先ほどは、副市長選任に当たりまして、皆様からの格別の御配慮により御同意を賜りましたこと、大変光栄に存じますとともに、長年担っていただきました石井副市長の後任ということもあり、職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

これまで、42年間、市職員として行政に携わった経験

を生かし、微力ではございますが、市民福祉の向上とさらなる富良野市の発展のために、また、しっかりと行政運営のために、北市長の補佐役として全力を尽くす所存でございます。

議員の皆様方には、倍日の御指導、御鞭撻を賜りますよう心からお願いを申し上げ、簡単ではございますが、お礼の御挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。(拍手)

閉 会 宣 告

○議長(黒岩岳雄君) これをもって、令和4年第3回富良野市議会臨時会を閉会いたします。

午前10時37分 閉会

上記会議の記録に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和4年5月23日

議 長 黒 岩 岳 雄

署名議員 大 栗 民 江

署名議員 本 間 敏 行